

授業科目名	解剖学実習 I		授業形態	演習	担当学期	1年（前期）
担当教員名	池田 卓矢（アシスタント：廣岡幸峰 他）		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>一度失われた機能を改善するためのリハビリテーション訓練を進める時に、日常生活において四肢体幹の動きを考えるその中で、基本的な解剖と生理は欠くことができません。患者の機能改善を考え、もう一度基本に戻って解剖を求めたとき、リハビリテーションとして触診はたいへん重要になります。本授業では、触診の意義、方法について学習をしていきます。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>体表解剖実習：人体を頭頸部、体幹、上肢、下肢に分け、各部の骨格と筋の関係について触察を通して、存在場所、形態、大きさ、作用を確認し、体表から触知できる構造物を実際に触察できる。解剖学実習 I では、主に上肢帯、上肢を中心に知識を深める。</p>					
授業回数	授業内容					
第 1 回	上肢 靭帯・筋 触診 1					
第 2 回	上肢 靭帯・筋 触診 2					
第 3 回	上肢 靭帯・筋 触診 3					
第 4 回	上肢 靭帯・筋 触診 4					
第 5 回	上肢 靭帯・筋 触診 5					
第 6 回	上肢 靭帯・筋 触診 6					
第 7 回	上肢 靭帯・筋 触診 7					
第 8 回	上肢 靭帯・筋 触診 8					
第 9 回	上肢 靭帯・筋 触診 9					
第 10 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 0					
第 11 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 1					
第 12 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 2					
第 13 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 3					
第 14 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 4					
第 15 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 5					
評価方法	単語帳テストと触診実技テスト それぞれ60点以上で単位習得とする。					
教科書 参考図書	〔教科書〕 運動療法のための機能解剖学的 触診技術 改定第2版 上肢・下肢体幹					
履修上の 留意点	実技が主体となるので、触診部位を露出しやすい格好で参加してください。 身体へのトレースを行うので、ホワイトボードマーカーを2～3色、拭き取り用のアルコールシートを準備してください。					
メッセージ	特になし					